

今回は5名の隊員の中から佐藤、森の2名が、東御市での各自の活動を振り返ります。

協力隊のひとこと

2016年1月号

■スポーツツーリズムによる交流人口の増加を目指して

現在、交流人口を増やすことを目的とし、大学のゼミや学術団体等、各方面にアプローチをしています。先日、鎌倉市にある大学のスポーツサークルの先生に東御市を視察していただきました。関東近郊からのアクセスの良さや目的に応じた施設を提供できることなど、地の利を最大限に活用した東御市の魅力をPRしました。若い世代の受け入れは、中長期的な需要が見込めることも狙いの一つです。



■湯の丸高原に雪

浅間連山も徐々に雪化粧してきましたが、気象庁の3カ月予報では「暖冬」です。予報が的中し今年も市内でも暖かい日が続いています。

先日、文部科学省の方々が東御市に視察のため来訪されました。市内の各名所と湯の丸高原を案内させていただきました。スポーツ好きの担当者であったことから、湯の丸高原エリアにお連れし、オールシーズンでスポーツを楽しめるエリアであることを紹介させていただきました。暖冬の影響もありますが、観光資源でもあるスキー場が早く全面滑走できるようになればと感じました。



さとうてるゆき
佐藤照友旭

10月は荷物と学生を乗せて、八重原を右往左往…火のアートフェスティバルでは、東京芸術大学の学生たちのお世話をしていました。芸術家の卵だけあってみんなくせ者ぞろい。次々と頼まれる無理難題。頭を抱えていると「手伝ってやるべ!」と地元の人が参戦!!土地交渉、食事の提供、はては運搬のトラックまで。北御牧の皆さんのおかげでなんとか形になりました。もはや北御牧の人たちの手によって開催できたと言っても過言ではないでしょう。本番当日、アート自転車でのサイクリングイベントは大好評。中には「また来たよ!」と、3回、4回と繰り返し来る子も。多数の来場者に、ノベルティが足りなくなり慌てる一幕も。大好評にお応えして来年の火のアートフェスティバルでは、「ツールド八重原」の開催が決まりか!?!と一人でニヤニヤしています。



東京芸術大学の音楽科には東御市出身の学生が多数います。12月にはそんな東御市出身の音楽科の学生たちが、ケアポートみまきでの望年会(←間違いじゃないよ!)のトリとして演奏を披露!



その後、北御牧中学校では、吹奏楽部の部員へ演奏披露と演奏指導を行いました。

今回は関係者のみしか聞けないコンサートでしたが、学生とはいえ、世界を目指す彼らの演奏は言葉にできないものがありました。ゆくゆくは、もっといろんな人に聞いてもらいたいですね。

もり けんたろう
森 健太郎